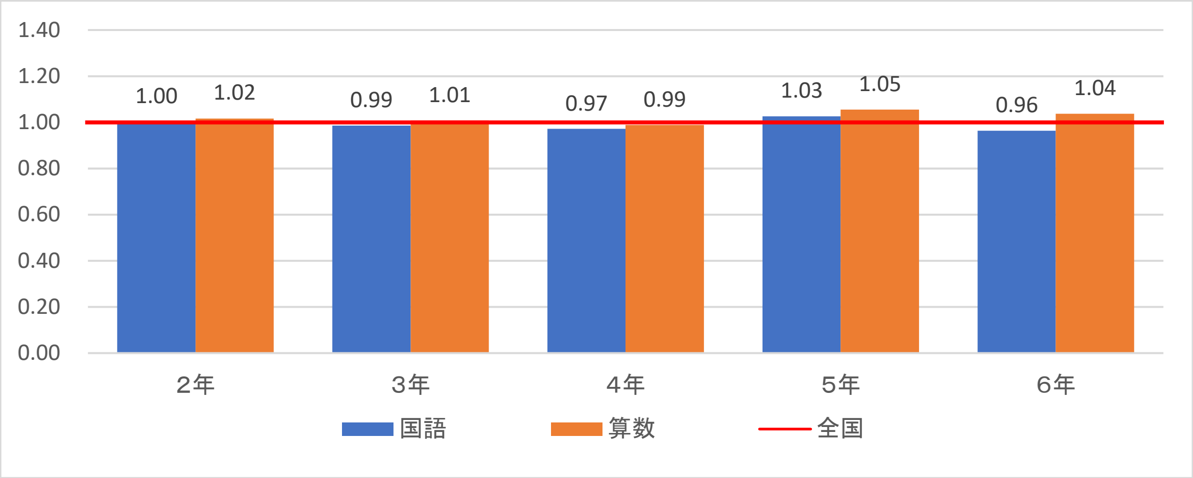
令和６年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について
第七中学校区　南小学校

○調査結果（全国平均を１とした場合の平均正答率の比）



※小学２～５年生は寝屋川市学習到達度調査、小学６年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	学校全体として、漢字の読み書きや「書くこと」領域の「資料から読み取ったことを記述すること」に課題がある。漢字の読み書きにおいては、定期的にテストを行い定着させていく。また、資料の読み取りにおいては、教科横断的に学習場面を設定していく。
	算数	単位の換算の設問に課題がある。低学年では、具体物とともに単位を理解することを大切にし、高学年では、面積や体積が長さ×長さで計算することから、単位をただ覚えるのではなく、計算から導くことを理解させる授業を行う。
全国学力・学習状況調査	国語	記述や短答の問題に課題がある。毎時間のふりかえりの書かせ方を指導し、意識して書かせることで記述問題への対応を日々の授業で補っていく。また、読書活動やディベート学習を通して、話の中心を捉えたり、意見を比べたりする力を育んでいく。
	算数	「図形」領域に課題が見られる。算数用語の暗記に留まらず、図形の定義を理解する授業や、図形の求積公式を変形して既習の図形に置き換えて考える授業を大切にしていく。
	質問紙	一日当たりのゲームや動画の視聴時間が全国平均より上回っている傾向が見られる。基本的な生活習慣を整えることができるよう、保護者と連携していきたい。また、「自分には良いところがある」と感じている児童の割合が高いため、引き続き自らの良さに気付けるような様々な経験を積ませていきたい。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

昨年、校区小中学校の全教職員で話し合い、本校区の学力の課題は家庭学習の定着にあると結論付けた。これを受け、今年度は小中学校で家庭学習ノートを取り入れ、家庭での学習習慣と個に応じた学習に取り組んでいる。

【　学　校　】

４月、７月、11 月、２月に実施の校内学習状況調査や、２月実施予定の漢字検定に向けた取組を通して、子どもたちの基礎学力の定着を図っている。また本年度より、算数科を中心に毎時間のふりかえりを丁寧に行い、文章力を育む指導の充実を図っている。